

『とやま文化 de 地方創生 in TOKYO』フォーラム —“国際北陸工芸サミット(富山県美術館などで開催)” +新しい“とやま文化”アピール—



2020 東京オリンピック・パラリンピック後を見据え、2017 年 11 月、文化庁と北陸三県が連携し、北陸の工芸の魅力
を世界に発信していく広域的な催し「国際北陸工芸サミット」が富山県で開催されます。

コア開催期間を 2017 年 11 月 16 日(木)～23 日(木・祝)とし、「THIS IS 工芸 -伝える。創る。-」をテ
ーマに、富山市・高岡市の各会場でアワード、シンポジウム、展覧会など、多彩なプログラムで構成されて
います。

文化が人・まちを元気にするアピールの下、有名ブランドの工芸は、実用品を高い機能性と美術的な意匠
性を融合させた作品が多く、更には宝飾品や芸術にまで高めたものが、当富山県ものづくりの、文化的背景
の一つでもあります。

主会場の富山県美術館(Art & Design をコンセプトに 8 月 26 日全面開館)は国内外から注目を集めており、
入館者数は年間 130 万人以上見込まれています。県下一円に波及効果が期待されている有力な観光資源とい
うだけではなく、アート&デザイン活用による富山県ものづくり産業の高付加価値化、創造的産業の醸成、生産
性向上への寄与などといった多方面での貢献も期待されています。

文化は、地域の誇りを育み、その醸成や共有を図ることは、より魅力的なまちづくり、地方創生へとつな
がります。

11/6「とやま文化 de 地方創生 in TOKYO」フォーラムの開催目的は、[ものづくり文化を背景に新しい世界
を展開しようとする富山県](#)を、世界につなぐ Global to Local / Local to Local へ体现する役割を、産学
官公民が連携し企画実施、伝え、広域(東京・富山)ボランティアが協力サポートするものです。

歴史文化財、伝統及び革新工芸を数多く有し、また[新しいものづくりに挑戦する“とやま”](#)において、富
山県美術館から始まる「[新しい文化を発信続ける富山県](#)」に触れて頂きたく、皆さまのご参加ご来訪をお待
ちしております。

2017 年 11 月 6 日(月) 開場 18:00 開演 18:30~

会場：東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JXビル 1F「3×3 LAB Future サロンホール」

定員：150 名 参加費 無料(要事前登録) ●交流会(要事前申込：会費 2,000 円)

目的：富山県の文化的側面を“とやま文化 de 地方創生”フォーラムで東京から日本・世界に発信

対象：首都圏中心に若者女性・富山県ファン、大手町・丸の内・有楽町・日本橋など周辺勤務者、

アート&デザイン・工芸に興味をもつ人、外国大使館有志、富山県出身関係の首都圏在住者

問合せ申込先：bunka@cdl.ne.jp (未来観光戦略会議)



beyond
2020

認証番号
a 001000927
内閣官房

石井隆一氏
(富山県知事)



1945年富山市生まれ。東京大学法学部卒業。69年自治省入省。埼玉県、石川県、大蔵省、北九州市などを経て、91年、静岡県総務部長。

94年、自治省財政課長。95年地方分権推進委員会事務局次長。その後、自治省財政担当審議官、総務省自治税務局長などを経て、02年消防庁長官(04年に退官)。2003年から早稲田大学大学院客員教授。04年11月富山県知事に就任。全国知事会地方税財政常任委員会委員長、政府税制調査会特別委員など歴任。現在、富山県知事4期目。

吉田 忠裕氏

(YKK株式会社代表取締役会長CEO)



1947年富山県生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。1972年米国ノースウェスタン大学経営大学院(ケログ)修了、YKK株式会社(旧吉田工業株式会社)入社。1990年YKK AP株式会社 代表取締役社長。1993年YKK株式会社 代表取締役社長。2011年YKK株式会社/YKK AP株式会社代表取締役

会長CEO(現任)。「TOGA777・アート・センター支援委員会」委員長、富山県文化審議会会長。著書に『脱カリスマの経営』(東洋経済新報社)、『YKKの流儀』(PHP研究所)

桐山登士樹氏

(富山県美術館副館長・富山県総合デザインセンター所長)



1952年生まれ。マーケティング誌、デザイン誌の編集者を経て、1988年にデザインプロデュース会社株式会社 TRUNK 設立。故黒木靖夫氏に師事。1993年に富山県インダストリアルデザインセンター企画部長を委嘱され、以後現在まで富山県の産業振興を推進。(富山デザインコンペティション、幸のこわけ、技のこわけ、KANAYA など)

松原吉隆 (主催・実行委員長)

大同産業・CDLグループ代表、未来観光戦略会議・とやまITベンチャー協議会会長、北陸経済連合会理事・北陸広域観光推進副委員長・富山経済同友会特別幹事(常任幹事・交通ネットワーク、海外研修、新幹線等対策各委員長歴任経て)高岡南部地域活性化推進協議会副会長・地域開発部会長、高岡商工会議所議員・三菱地所東京21Cクラブ会員、3市長新幹線フォーラム・3市長LRTフォーラム・県西部6市地方創生圏各フォーラム等の目的実現の為、有効活用企画実施



青柳正規氏

(前文化庁長官、東京大学名誉教授)



1944年大連生まれ。東京大学大学院博士課程修了。前文化庁長官、東京大学名誉教授、日本学士院会員、ギリシャ・ローマ考古学者。ローマ大学に3年間留学、ポンペイ遺跡の発掘に携る。東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授・研究科長、国立西洋美術館館長、独立行政法人国立美術館理事長を務める。山梨県立美術館長(現在)。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員長。著書に『古代都市ローマ』(中央公論 美術出版社)、『皇帝たちの都ローマ』(中央公論新社)、『文化立国論』(筑摩新書)他

藻谷浩介氏 (地域エコノミスト)

日本総合研究所調査部 主席研究員)



日本政策投資銀行地域企画部 特任顧問。山口県生まれの53歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外59ヶ国を私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東京大学法学部卒業、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、地域振興や人口成熟

問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著に『デフレの正体、里山資本主義 (共に角川Oneテーマ21)、和の国富論、観光立国の正体 (共に新潮社)、日本の大問題 (中央公論新社)。

◇プログラム (司会進行：三菱地所)

- 挨拶 松原吉隆
- 報告 桐山登士樹氏
- 講演 石井隆一氏
(仮)「とやま新時代・高志の国ブランドの挑戦 — 自然・人・文化」
- 講演 青柳正規氏
「文化立国論と地方創生」
- 対談 吉田忠裕氏 × 藻谷浩介氏
(仮)「文化を語る — クリエイティブとやま、新時代へ！」
- ものづくり・まちづくり
- 交流会 (フォーラム終了後、事前申込制)



富山県美術館
アート&デザイン

募集中!

1. 今新しい文化を発信 **7ヵ月参加者(無料)、交流会(会費2千円)募集**
11/6 とやま文化 de 地方創生 in TOKYO
2. 「とやまへ行こうツアー」感動五感体験! 先着優先・多数時抽選
①11/18 三菱地所とやま文化ツアー募集
②11/23~24 藻谷浩介と行くものづくり富山ツアー・とやま交流会募集
今、話題の「恋する富山県美術館」
(1)神秘性や不思議感。周囲の公園、水辺、ター橋や世界No.1表彰されたスターバックス店はじめ恋人のラフスポットである夜景は光が幻想的な風景を演出、必見!
(2)稀少性。非日常的な世界・空間を楽しめる。
(3)季節限定感。富山県しか味わえない海里山 AKB 食?と新しい工芸器発見。
2. 11/22 仏大使館・仏大使と語る。福島支援交流会
(要事前予約 仏人シェフ料理会費1万円)

◇「とやまへ行こう! ツアー (富山県内周遊)」実施 問合せ・参加申込メールアドレス: bunka@cdl.ne.jp
(1) 11/18(土) (仮) 三菱地所とやま文化ツアー
(2) 11/23(木・祝)24(金) 藻谷浩介と行くものづくり富山ツアー 交流会

◇主催「とやま文化 de 地方創生」フォーラム実行委員会 (未来観光戦略会議・三菱地所エコツェリア協会)
共催 富山県 特別協力 北日本新聞
後援 文化庁、国交省、経産省、富山市、高岡市、黒部市、魚津市、滑川市、射水市、氷見市、砺波市、南砺市、小矢部市、読売新聞、朝日新聞、北陸経済連合会、富山県商工会議所連合会、富山経済同友会、日本政策投資銀行、JR 西日本 他多数 協力 カマコン

